

《グラビア》  
子どもが進める創立百周年記念式典・  
わが校の今昔

《木下の言葉》

学習の意義は澤山ある (1)

◆平成の学習法 文部科学省指定の研究開発学校 三年次の我が校の課題 谷岡義高 (4)

**主題** 自律的に学ぶ子どもを育てる学習法  
——「ふりかえり」論——

第二次独自学習と「ふりかえり」 梶田 萬理子 (6)

「奈良の学習法」における「ふりかえり」の意味と課題 杉澤 学 (12)

主体的に学習生活を過ごす中で高まるふりかえり  
——1年星組と共に学んだことから—— 西下 旬也 (18)

《特別寄稿》

「考える」授業を展開する 野田 敦敬 (24)

**実践**

食文化の豊かさを体感する食の学習  
——みそ汁のひみつをさぐる(五年)—— 堀本 三和子 (30)

子どもの学びを育む運動ランドの取り組み  
——四年生の運動ランドの実践より—— 阪本 一英 (36)

筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝える  
——平和のとりでを築く(六年)—— 大野 智子 (42)

子どものやる気を引き出す保健指導  
——三年「歯みがき名人になろう」の実践—— 仲 敦子 (48)

教師の日記 東日本大震災から 何を学ぶか 畔柳 英徳 (54)

◆「しごと」 自分を見つめ直す 「しごと」と「しごと」(重松藤泰論文より) 小幡 肇 (56)

◆「けいこ」(国語) 「やらなる独自学習」 西田 淳 (58)

◆「なかよし」 なかよし広場 「やらなる独自学習」 谷岡義高 (60)

《実践寄稿》

「互いの思いをじっくりと聴き、  
学び合い深め合う子」をめざして 北元 智明 (62)

——第六学年総合学習の時間の中で食する「たけの野菜」の実践を——

学校だより (68) 会員のひろば (69) あとがき (71)

表紙：大野木位行・カット絵：嶋守哲夫

